

# 同好会がゆく

東京玉翠会には、楽しく温かく  
讃岐弁のとびかう同好会があります。  
東京の中の卒業生。  
今年はスペシャルでご紹介。

## 「囲碁同好会」がゆく 玉翠会囲碁同好会活動報告 烏鷺を戦わせて15年

### 活動の経緯

玉翠会囲碁同好会は、1995年9月30日の第1回から始まり、昨年の2009年4月5日の第15回の同好会まで15年間活動を続けてきました。

会員数は最大で70名、同好会参加者は、計49名延べ217人で、大正7年生まれの方が最高齢です。囲碁大会は、ハンディ戦ですが、スイス方式による対戦成績で順位を決め、優勝者は持ち回りのカップ（東京玉翠会会長盃）を授与され、ときには賞状も出ます。また、賞品も優勝、準優勝、3位、参加賞が出ます。参加者の囲碁の段位は、8段1名、7段1名、6段1名、5段5名、4段6名、3段10名、2段10名、初段6名、級位者7名です。女性もいます。



対局は真剣そのもの。目標は50人規模の大会です。  
H20年8月1日（土）：於 赤坂 細川商事会議室にて

### トピックスその他

玉翠会囲碁同好会は、当初会員のお世話で「日本長期信用銀行」（現新生銀行）のクラブ南麻布会館で開催していました。ここは立派な碁盤が揃っていて二次会も豪勢な雰囲気でした。その後、世相の反映で利用できなくなり、日本棋院市ヶ谷会館や赤坂の細川商事の会議所を利用させてもらっています。

二次会では、大先輩方の戦時中の話、昔の映画女優（洋画が多かった）の話、同窓生の消息やら活躍話、さては高齢者が多いせいか病気の話など、愉快的話やら参考になる話を聞いて大変面白い時間を過ごすのも楽しみの1つになっています。

### おわりに

今後も、年1回は囲碁同好会を開き、囲碁の研鑽に励み、打ち直しの利かない人生の一局に反映させられる楽しい、有意義な囲碁活動にしたいと幹事一同張り切っています。囲碁をやったことのある方、腕に覚えのある方は是非本囲碁同好会に参加して下さい。

横田義直 記

#### お世話役連絡先

代表 井上 榮 (S33卒)

幹事 丸田 晃 (S25卒)

幹事 横田義直 (S35卒)